

脊髄(せきずい)から枝分かれした神経は脊椎(せきつい)と脊椎のすき間(椎間孔(ついかんこう))から出て、末梢に至ります。神経が椎間孔から出た場所あたりで神経根に、局所麻酔薬を注射するのが神経根ブロック療法です。一般的に神経根ブロック療法はレントゲン透視下にて行います。

当院では、CTを用いて神経を探します。直接神経根に針を刺すことはせず、その周りに注射しますので痛みは伴いません。

このように神経根ブロックには、治療効果および症状が持続する期間を短縮する効果もあります。但し、治療効果の度合は、患者さんによって異なります。

👉 トリガーポイント注射とは

神経根ブロック注射は、痛みのもととなる神経根に局所麻酔薬を注射するのに対し、トリガーポイント注射は、痛みがある箇所^①に直接注射を打つ方法です。

当院では、神経根ブロック注射同様、CTを用いて痛む部位を中心に触診し、注射にて局所麻酔薬や消炎鎮痛薬などを注入します。深部の筋肉にまでピンポイントで届くトリガーポイント注射は、慢性痛に非常に相性が良く、大変有効であると言われています。

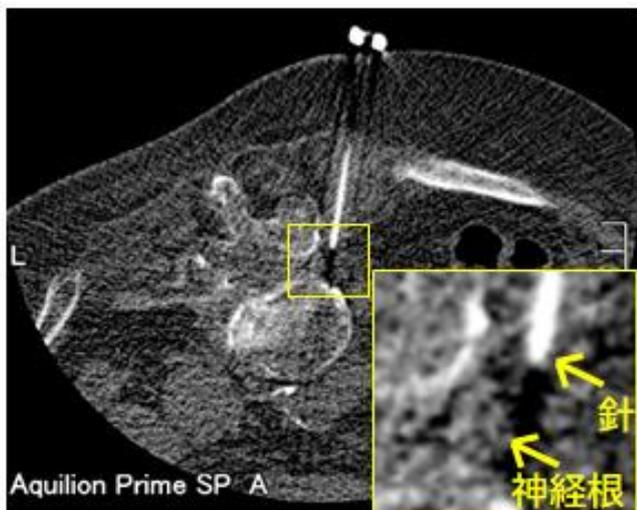
トリガーポイント注射の継続期間は患者様によってまちまちですので、症状次第と考えます。当院でトリガーポイント注射を行う場合、通常は1回投与後、症状をみながらそのまま継続するかどうか再検討しています。



Canon Aquilion Prime SP A
特徴・80列160スライス MDCT。
・高画質と被ばく線量の低減を両立。
・冠動脈CTや救急医療の急性期画像診断に活用。



CT装置



神経根ブロック注射



トリガーポイント注射